

Genkimiru プラットフォーム

バイタルゲイン AIレコーダー機能概要

音声で話すだけ。
AIが自動で記録・分類。

- ✓ **多様な生活情報のカンタン記録**
日々の出来事、ヘルスデータ、医療メモ、予定を音声で瞬時に残せます。
- ✓ **AIによる自動タグ付けとスマート分類**
話した内容をAIが解析し、自動でタグを生成。最適なカテゴリーへ振り分けます。



AIレコーダーとは（概要と特徴）

AIレコーダーの仕組み



1. 話す



2. AIが意図を解析



3. タグ付け・自動分類



4. タイムラインにカード化

主な特徴



ワンタップ録音

スマホアプリのボタン、または専用ハードからすぐに録音開始できます。



自動タグ生成・カテゴリー分類

「日記」「健康メモ」「医師メモ」「スケジュール」へ自動で振り分けます。



プライバシー配慮・後同期

機密情報を安全に処理。オフライン時は一時保存し、通信復帰後に同期します。



ダッシュボード連携

録音された内容で「食事」の話は摂取カロリーに登録
薬の服薬の話は「ヘルスノート」へ登録
血圧、体重、血糖値などもダッシュボードへ反映されます。
※アプリが起動している状態でBluetoothが繋がっている状態であれば、ボタンを押して録音するだけで、ダッシュボードに反映できます。

使い方（録音と接続フロー）



Step 1

デバイス接続

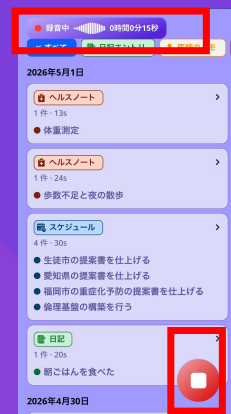
ダッシュボードにあるAIレコーダーをタップ⇒上部にあるAIレコーダ横のBマークをタップ⇒利用可能なデバイスから専用マイク「HA-MIC01C L1904」等を選択し、Bluetoothで接続します。
※専用ハードがある場合のみ



Step 2

音声の録音

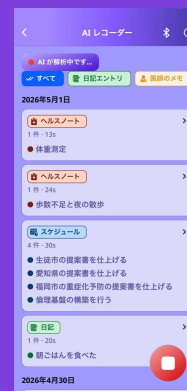
右下にある赤いボタン、またはハードの物理ボタンで録音開始。画面には波形とタイマーが表示されます。



Step 3

AI自動解析

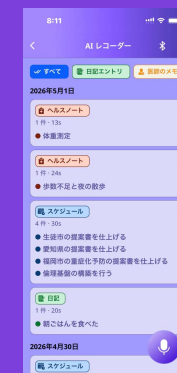
録音を停止すると「AIが解析中です…」と表示され、内容から意図を抽出しタグを自動付与します。



Step 4

確認と編集

タイムラインにカードとして保存されます。カテゴリや抽出された日時、メモの内容は手動で修正も可能です。



💡 【ヒント】 スマホアプリ・専用ハードどちらからでもスムーズに記録可能。「すべて」「日記」「スケジュール」等のフィルタで後から探すのも簡単です。

自動振り分け（4つのカテゴリー）



日記

例：「朝ごはんを食べた」→摂取カロリー登録

本文、録音日時の記録に加え、気分の状態やリスク評価（リスクなし等）を自動判定しタグ付けします。



健康メモ

例：「体重測定 58.2kg」

「体重」という観察項目と「58.2」という数値を自動抽出し、イベント時間とともに記録します。



医療機関メモ

例：「放射線治療に関する所見」

診察時のメモや医師からのアドバイスなどを、診療日時情報とセットで安全に保管します。



自動振り分けの仕組み

キーワード、時刻、意図をAIが抽出し、最適なカテゴリに自動タグ付け。手動での再分類・編集も可能です。



スケジュール

例：「福岡へ 5/2 18:00」

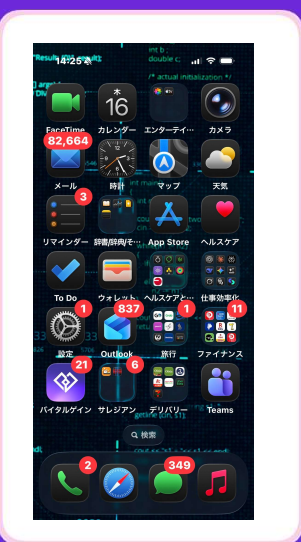
「提案書を仕上げる」などのタスクや、日付・時間・場所を含む予定を自動生成します。

記録/確認と活用

記録方法

アプリが起動していれば
専用マイクのボタンを押せば登録開始

確認方法（タイムラインと詳細）



活用シーン



- ・生活ログの習慣化（食事や気分の記録）
- ・通院時の共有（医師メモや症状の正確な伝達）
- ・予定管理（スケジュールやタスクの抜け漏れ防止）

ダッシュボード連携



AIレコーダーで記録された内容のカードは、食事記録、血圧、体重、睡眠時間などの健康指標と共にダッシュボードへ反映されます。日々の健康記録が簡単にでき、確認できます。

期待効果



- ・入力の手間を省き、記録時間を大幅に短縮
- ・手軽さによる記録漏れ（思い出し忘れ）の削減
- ・自動タグ付けによる、後からの優れた検索性